



地域おこし協力隊通信

千勝 数馬 編

第 58 回

2月1日・2日、秋田ノーザンハピネッツのホームゲームが、能代市総合体育館で行われました。「能代をピンクに染めよう!」と、柳町商店街振興組合の皆さんが商店街の空き店舗を活用し、期間限定のハピネッツショップを企画。私もお手伝いさせていただきました。同組合の皆さんをはじめ、多くの皆さんのご協力本当にありがとうございました。

試合は、能代工業高校出身でハピネッツメンバーの長谷川選手、対戦相手の京都ハンナリーズメンバーの内海選手に注目が集まり、試合前のアツプでは、長谷川選手が能代工業時代のウェアを着て練習する場面も! 選手の能代に対する愛を感じました。試合には敗れてしまいましたが、2日間ともハピネッツが激しいディフェンスで終盤に追い上げ、最後までどちらが勝つか分からない手に汗を握る激戦でした。

期間中は、ハンナリーズのブースターもたくさん市内を訪れており、皆さん口をそろえて「街がバスケにあふれている!」と興奮気味に話していました。能代に住んでいると当たり前に感じてしまいますが、やはり能代は「バスケの街」なんだなと改めて思ったイベントでした。



ショップではグッズ販売のほか抽選会なども実施



協力隊の活動状況は Facebook で公開中! <https://www.facebook.com/noshirokyoryokutai/>
問合せ 市民活力推進課 ☎89-2212

このコーナーでは、まちの元気さんを紹介します。



No.95

地域の「橋渡し役」としてまちを支えたい
移動スーパー・買物代行 畠山商店

畠山 和憲 さん (47歳)

●母の認知症をきっかけに転職

以前は県内各地でコピー機やパソコン販売の営業をしていましたが、4〜5年前に母が認知症であることが発覚。症状の進行で普通に会話ができる期間も残り少なくなってきました。

母の介護をし、実家に住みながらできる仕事を調べていたところ、移動スーパーや買物代行の職業を見つけ、開業を決意。23年間勤めた職場を退職しました。

●お客様第一で能代山本

各地域を訪問
昨年4月から開業に向けた準備を開始。商工会や金融機関などの力を借りて事業計画を練り、12月に開業しました。

前職で培った営業スキルを生かして、お客様の要望や課題解決のため、市内各地域や福祉施設などを訪問。多くの方と信頼関係を築くことを大切にし、時には玄関先まで出向き、お客様第一で販売を続けています。

●対話の中から地域課題を探る

さまざまな方と出会い、対話をする中で、「冬場は車を運転するのが怖く、買い物に出かけられない」「デイサービスの利用していると、買い物に行くタイミングなど、それぞれの地域で買い物に悩みを抱えている人がいることに気づきました。

移動販売でこれからも課題を探り、地元貢献していく方法を考えていきたいです。

●困っている方々の

「橋渡し役」になりたい
地域活性化のため、販売する商品はなるべく地場産のものを心がけています。また、移動販売だけでなく、買い物代行や高齢の親と離れて暮らしている方からの見守り依頼などにも応じています。地域の皆さんの「橋渡し役」「御用聞き」として、今後もこのまちを支えていきたいです。

訪問地域・日時 ※3月1日現在

曜日	時間	地域
月曜日	10:00	常盤
	11:00	轟
	13:00	坂形
	15:00	天内
	15:30	苅橋
火曜日	10:00	富田
	11:00	仁鮎
	12:30	鬼神
	13:00	小掛
	14:00	二ツ井
水曜日	10:00	森岳
	13:00	檜山羽立
	14:00	鶴形
	15:00	富根羽立
	木曜日	10:30
12:00		石川
14:00		能代
15:00		切石
15:30		二ツ井下町
金曜日	10:30	粕毛
	12:00	富根駅前
	14:00	能代

問合せ ☎090-1938-2713
受付時間 平日 午前9時~午後5時

